



スタートして早1か月

【校長 太田 謙二】

木々の若葉がさわやかな風になびいて、とても過ごしやすい季節となりました。新しい学年がスタートして、早1か月が経ちました。子供たちは、この1か月、生活面や学習面など、すごく張り切って取り組んでいます。1年生は、給食や午後からの授業が始まりました。担任の先生の話をしっかり聞き、学校のルールや学習のルールなどが分かり、少しずつ小学校の生活に慣れてきているように感じます。

先日は、1年生を2年生が、学校内の各教室等の案内をする「学校探検」に連れて行ってくれました。2年生は優しく丁寧に教えてあげて、1年生も楽しそうに連れてもらっていました。その姿が素敵で、見ていてとてもうれしくてうれしくて。上の学年として、下の学年の子のことを考えて行動できることが、中之島小学校の素晴らしい伝統だと改めて思いました。



さて、新型コロナウイルスの感染拡大のため、先月の授業参観、家庭訪問を中止とさせていただきます。保護者の皆様には、予定をしていただいていたのに大変申し訳ありませんでした。現在、感染の爆発的な拡大により、近畿では大阪府、京都府、兵庫県に緊急事態宣言が発令されて、和歌山県も不要不急の外出を控えるように要請されています。昨年度のように、学校が休業ということにはなっていませんが、気を許せない状況が続いています。



これから大型連休が始まりますが、その間の過ごし方について、お家でお話しをしてもらえたらと思います。そして、連休中は4月にがんばった疲れをとり、連休明けから力を発揮できるよう、エネルギーをしっかりと蓄えておいてください。

今後、行事や子供たちの学習活動について、その時々状況を見ながら進めていく必要があると考えております。中之島小学校の子供たちが楽しく安全に学校生活を送れるよう、保護者の皆様、地域の皆様、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。